

令和三年

年頭のあいさつ



飯南町長 山崎英樹

あけましておめでとうございます。
令和3年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。
旧年中は町政に対し、温かいご支援とご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年の年明けから新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染が拡大し、年末になっても収束することなく、残念ながら感染が続く中で年が明けました。町民の皆さまには、一変した日常生活の中で、日々緊張感をもって感染予防対策に努めていただいております。深く感謝いたします。ワクチンの投与など、早くに抜本的な対策が取ら

信環境を整え、頻発する災害に対して、ケーブルテレビでの緊急情報の発信や、「土砂災害特別警戒区域」の指定への取り組み、「防災士連絡会」の設立など、一層の注意喚起や体制整備を進めました。

福祉においては、妊娠期から高齢者まで幅広く相談に応じる「全世代型の総合相談窓口（保健福祉センター）」の整備や、「外出支援タクシー助成」「自動運転の長期実証実験」の実施、NPO法人晴雲の里施設整備の支援などに取り組みました。

さて、迎えた本年ですが、近年の「田園回帰」の流れに加えて、コロナの影響で「田舎」の価値が見直されつつあります。

そんな中、宝島社が発行する「田舎暮らしの本『2021 住みたい田舎ベストランキング 全国の町の部』」で、本町が「子育て世代が住みたい田舎」第1位、「若者世代が住みたい田舎」第1位、そして「シニア世代が住みたい田舎」第2位に加えて、「総合」の部においても、堂々の第1位にランキングされました（9ページに関連記事）。年明け早々から大変うれしいことです。これまで「子育て」「移住定住」に力を入れてきた一つの成果だと思えます。

今後は、それぞれの地域が「集落実態調査」を基にしてUターン者を増やせるように支援するなどして、住民の皆さんと行政が一体となって定住を進め、元気な集落づくりを進めていかなう

れ、穏やかな生活が取り戻せることを祈っております。

昨年はコロナの影響により、第30回の節目となる「コスモス祭り」を始め、ほとんどのイベントが中止となり本当に残念でした。また、各小中学校、飯南高等学校でも休校や各種大会が中止となり、児童生徒にとっても大変な一年となりました。しかし、児童生徒や先生方などの努力により、すでに学習の遅れを取り戻し、元気に学校生活を送っていると聞いています。

そんな中、飯南高校ハンドボール部は、県大会で見事優勝し、私たちに勇気を与えてくれました。児童生徒の皆さまには、昨年の悔しさをバネに、すべての分野で大いに活躍してくれることを願っています。

行政においても、「第2次飯南町総合振興計画・後期計画」がスタートしたものの、行動を制約せざるを得ず、十分な取り組みができませんでした。このような状況の中ではありましたが、「飯南町の教育・文化の拠点」「来島地区の小さな拠点」の基幹施設として「来島拠点複合施設」を完成させることができました。

また、光ケーブルの全町敷設により情報通

はなりません。

また、さらなる農業振興に向けて、農業においては施設園芸や露地野菜の生産拡大、畜産においては「ゲノミック評価」や規模拡大の支援、中でも和牛においては、次期鹿児島全共に向けての取り組みを進める必要があります。

そして福祉においては、福祉施設協議会と連携した福祉人材の確保と、持続可能な体制整備を図り、住民の皆さんがより安心して暮らせるよう交通体系を整備するなど、一層の充実した生活環境を生み出すことが求められます。

こうした時に、本年1月には町長選挙が行われ、新たなリーダーが誕生いたします。新たなリーダーには、本町の新しい時代を力強く切り拓いていただくことを期待するところです。「笑顔あふれるまち 飯南町」、本年の一層の飛躍を強くお祈りいたします。

また私事ですが、1月末の任期満了をもって退任をさせていただきます。町民の皆さまには、これまで4期16年の永きにわたり、温かいご支援、ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

結びに、皆さまのご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。